事業名	期日	場所
今金町防災を考えるつどい	１１月１８日	町民センター

活動内容	町長の想いや願い
昨年の東日本大震災を契機として、開催されている今年度の防災を考えるつどいが行われました。防災・減災対策に拘わる関係機関のご協力も頂き、吹雪模様と参加者の足も止まる様な状況でしたが、延べで 140 名の方が参加されました。 今回の内容は、自衛隊・日赤奉仕団・今金女性会による炊き出し実演と試食で、おにぎり・豚汁コロッケを作りました。講演は 40 名強の参加者でしたが、防災・減災の基本となる“気象”“地震から身を守る”と題した内容で、とても、分かり易く、知識として、心得として身につけなければならない貴重なお話でした。開発河川事務所の羽山所長からは、４月に発生した後志利別川住吉	地区の斜面崩落の経過と説明をして頂きました。地元業者のノウハウと日頃からの水防訓練と業務の取り組み姿勢の素晴らしさで、大災害に及ぶことがなかったと説明がありましたが、町長としては、そうですが、その前提となる河川事務所の初動体制と速やかな対応が、功を奏したものと認識しています。後援頂いた、陸上自衛隊函館地方協力本部、函館開発建設部、せたな警察署、檜山振興局の日頃の対応と防災体制に的確な気象情報を提供される函館海洋気象台等の後方支援に支えられていることが認識され、それぞれの役割が果たされていることを知るとても良い集いであったと思います。

